失業手当の受給に関するQ&A集

～ハローワーク加古川(加古川公共職業安定所)～

Q1. 雇用保険受給資格者証って何ですか？

A 1

皆さんが失業手当受給手続きを行ったことを示す証書であり、皆さんの失業手当の受給状況等を記録していく証書です。したがって、ハローワークに来所する際は常にご持参ください。

Q2. 失業認定日って何ですか？

A 2

失業認定日とはその日に来所いただき、失業の認定を受けようとする期間中の皆さんの状況の確認を行う日です（失業認定の時間帯は、雇用保険受給資格者証をご確認ください）。

なお、失業認定日は原則として4週間に1回ですが、当日に次回の失業認定日を雇用保険受給資格者証に印字しますので、そちらを併せてご確認ください。

Q3. 失業認定日に何をしますか？

A 3

給付課の窓口には①雇用保険受給資格者証、②失業認定申告書をご提出いただき、その内容に基づいて失業手当の支給手続き等を行います。

なお、手続きは上記の書類をご提出いただいた順番に行いますが、失業認定申告書の記入内容に不備がある場合や、給付課がお尋ねすることがある場合は、手続きが終わる時間が遅くなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Q4. 失業手当はいつ支給されますか？

A 4

失業認定日ごとに支給手続きを行います。ただし、給付制限がある場合は、最初の失業認定日の次の認定日から支給手続きを行います（したがって、この場合は最初の失業認定日には支給手続きを行いませんが、最初の失業認定日に来所していないと次の認定日に支給手続きができませんので、ご注意ください）。

Q5. 認定日に来所できなかった場合はどうなりますか？

A 5

失念や勘違いにより認定日に来所することができなかった場合は、失業手当の支給処理等を行うことができません。この場合は、認定日に支給処理等を行うことができなかったという手続きを行う必要があるため、早急にご来所ください。

Q6. 認定日の変更はどういった場合にできますか？

A 6

認定日の変更は原則として、①やむを得ない理由がある、②事前にハローワークに相談している、③相談の際にハローワークが指示した証明書が準備できる、といった条件をすべてクリアした場合にできます(クリアしない場合は、認定日に来所できなかった場合(Q5)と同じ扱いになります)。

なお、失業認定の時間帯の変更のみである場合は、上記の条件をクリアしなくても可能です。

Q7. どういった活動が求職活動に該当しますか？

A 7

ハローワークや新聞広告、インターネット等で求人情報を見ただけの場合は、求職活動には該当しません。なお、求職活動は失業の認定を受けようとする期間中に、2回以上(最初の失業認定日に限っては1回以上)必要です。

Q8. 就職が決まった場合、どのような手続きを行うのでしょうか？

A 8

就職が決まった場合は、原則として就職日前日にその届け出を行っていただくこととなりますが、手続きの進行状況によっては前日ではない場合がありますので、ハローワークにご相談ください。

なお、就職が決まった場合、初出勤日と在籍初日が異なる場合がありますので、ハローワークにご相談の前に必ず就職先にご確認ください(届け出をいただく必要がある日は在籍初日です。これを誤ると、不正受給として処分される場合があります)。

Q9. 不正受給を行った場合、どのような処分があるのでしょくか？

A 9

不正受給を行った場合は、①以後の失業手当の支給停止、②不正受給を行った金額の3倍の金額の納付、③納付する金額に応じた延滞金の納付、といった処分が課せられます。これに加えて、財産や預貯金口座の差し押さえ、詐欺罪による刑事告発を行う場合もあります。

- ・ これら以外にも、大事なことはまだまだあります。それはお手元の「受給資格者のしおり」に書かれていますので、必ず「受給資格者のしおり」を
一読ください。
- ・ ご一読の結果、ご不明な点がある場合は必ずハローワークにお問い合わせ
ください。「知人が言っていた」「インターネットのまとめサイトに書かれて
いた」等について、ハローワークは一切責任を負いません。
- ・ ハローワークにお電話でお問い合わせの際は、雇用保険受給資格者証に記
載の支給番号を併せてお知らせください(支給番号が分からない場合、お答
えできない内容があります)。

～ハローワーク加古川(加古川公共職業安定所)～